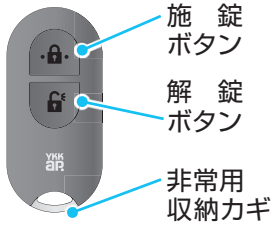


各部の名称

ポケットキーシステムの部品・部材など、各部の名称を示しています。本書を読む前にご確認ください。

■ カギ

リモコンキー
(非常用収納カギ付き)



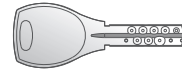
(別売り)

タグキー
(非常用収納カギ付き)



(別売り)

非常用カギ

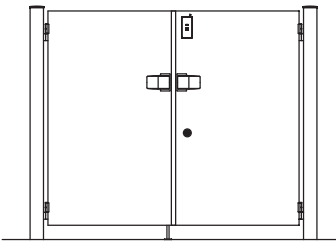


5本

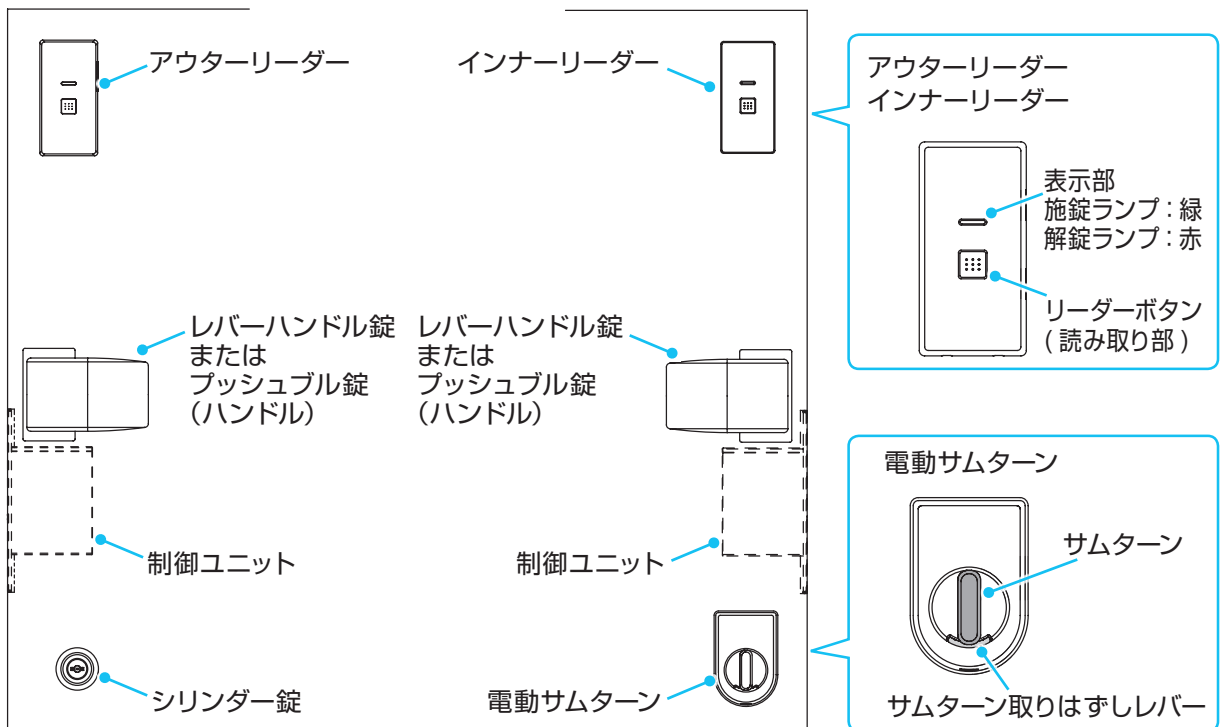
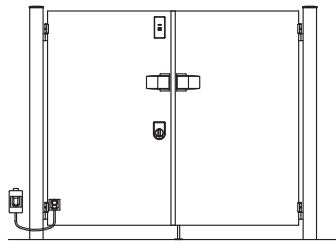
■ 門扉

● 門扉によって各部品の取り付け位置は異なります。

道路側



家屋側



ご使用になる前に

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.6「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

保証書の登録

登録の際は、あらかじめ「電装商品保証登録票」をお手元にご準備ください。

保証書の登録
はこちら



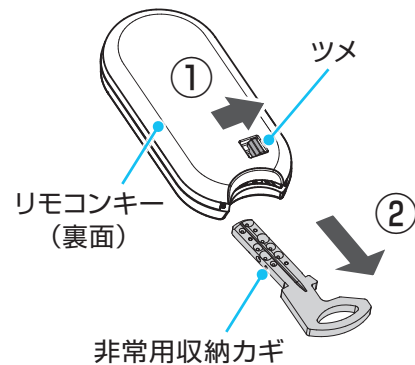
非常用収納カギの取り出し方／戻し方

- リモコンキー／タグキーには非常用収納カギが装着されています。
- 停電時に、非常用収納カギを取り出し、手動で施錠／解錠できます。
- 不測の事態に備えてリモコンキー／タグキーは非常用収納カギを取り付けた状態で携帯してください。

■取り出し方

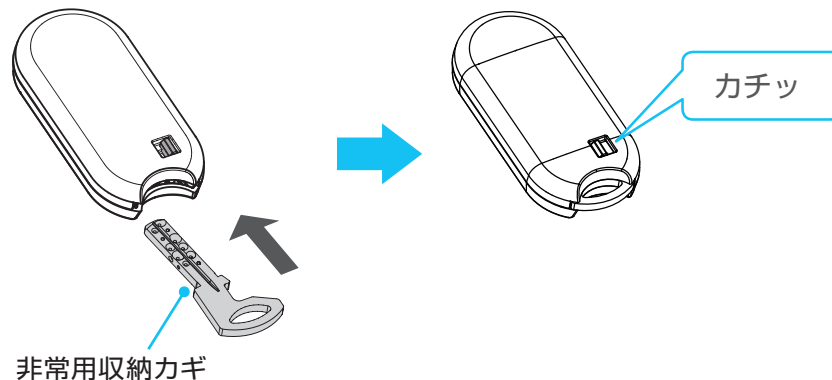
- 1 非常用収納カギを引き抜く**
リモコンキー裏面のツメをスライドしながら、非常用収納カギを引き抜きます。

- 非常用収納カギでの施錠／解錠方法は「停電の場合 (→ P.150)」を参照してください。



■戻し方

- 1 非常用収納カギを差し込む**
非常用収納カギを「カチッ」と音が鳴るまで差し込みます。



リモコンキーの電池の交換時期と交換方法

⚠ 警告

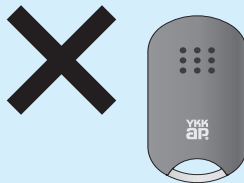


[禁止]

リモコンキーの電池交換の際は、はずしたコイン形リチウム電池を放置しないでください。小さなお子様、コイン形リチウム電池を飲み込み、化学やけどや粘膜損傷など、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

- タグキーは、電池を使用していないため電池交換は不要です。

タグキー



- リモコンキーにあらかじめ内蔵されている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっているおそれがあります。ご使用になる前に電池を交換することをおすすめします。
- リモコンキーの交換用電池は、コイン形リチウム電池CR2032です。この電池はカメラ店、家電販売店、ホームセンターなどでお買い求めになれます。

交換用電池
CR2032



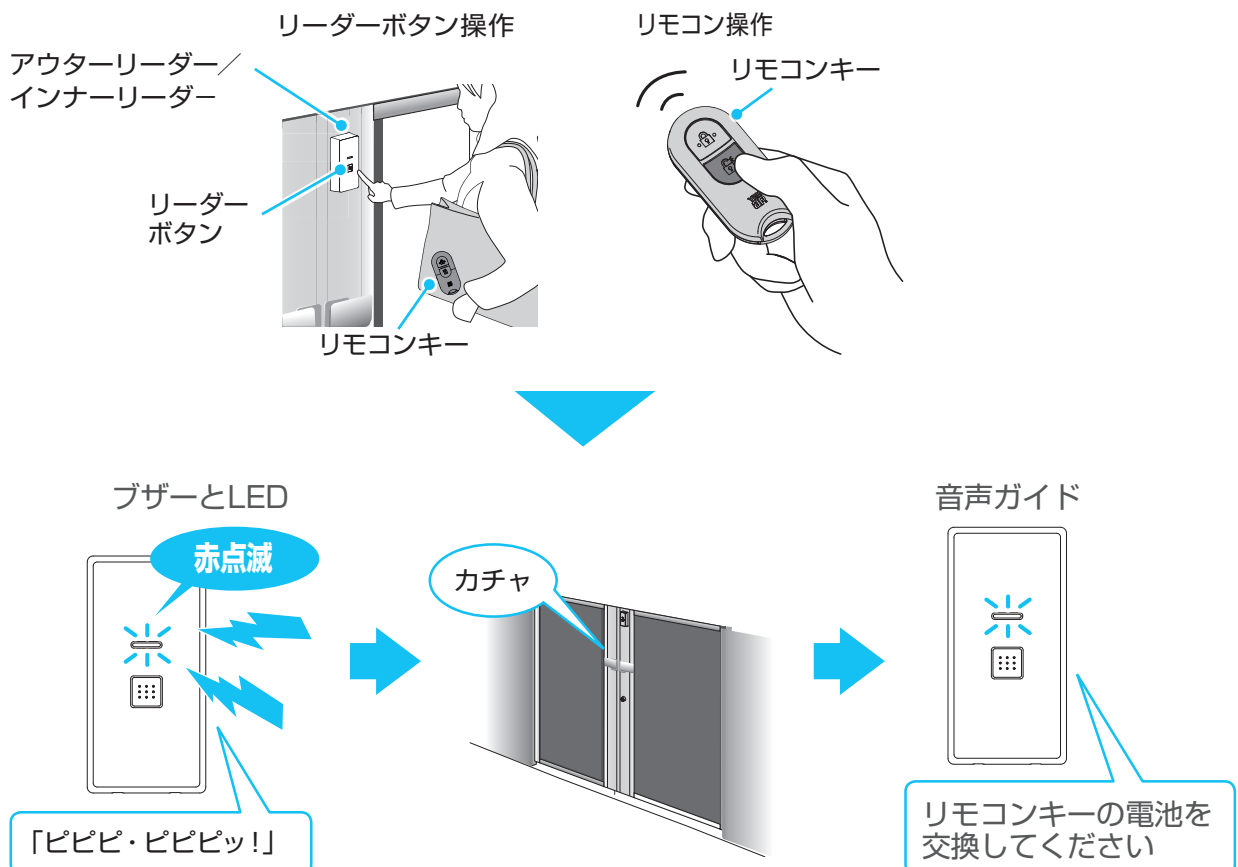
■ 電池の交換時期

- リモコンキーの電池寿命は、約1年（1日約10回操作を想定）です。
※電池の寿命は、使用頻度や使用環境により異なる場合があります。
- リモコンキーの電池が完全に消耗すると、リモコンキーでの施錠 / 解錠ができなくなります。電池交換のお知らせが出たら、直ちに電池交換を行ってください。万が一の場合は、非常用収納カギや非常用カギで施錠 / 解錠を行ってください。（→ P.150）

■電池の交換時期のお知らせ

- 電池は、低温環境で一時的に電池電圧が下がる特徴があります。
リモコンキーを寒い場所で保管、使用すると、施錠 / 解錠操作の際、一時的に電池交換のお知らせが出る場合があります。この場合、暖かい場所で保管、使用することで電池電圧が復帰し、お知らせが止まります。
- 電池が消耗していると、急激な温度変化により電池交換のお知らせが出ずに、リモコンキーでの施錠 / 解錠ができなくなる場合があります。
安心してご使用いただくため、電池交換のお知らせが出ていない場合でも、約1年を目安に電池交換を行ってください。
- 電池交換のお知らせが出ていない場合でも、約1年を目安に電池交換を行ってください。電池の液漏れや腐食により、リモコンキーが故障する場合があります。
- 電池交換のお知らせが出ているリモコンキーの電池をはずし、再度同じ電池を挿入すると、一時的にお知らせが止まります。
これは、挿入された電池の残量を確認している状態で、電池の残量が回復した訳ではありません。
必ず新しい電池に交換してください。

- リモコンキーの電池が消耗すると、施錠/解錠操作をする際に、ブザー音とLED、音声ガイドでお知らせしますので、電池交換を行ってください。
※施錠/解錠操作の際、電池交換のお知らせが出ても門扉は施錠/解錠されます。
※音声ガイドは、施錠/解錠が終わった後に流れます。
- リモコンキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、必ず「■電池の交換方法」(→P.22)に従って電池交換を行ってください。

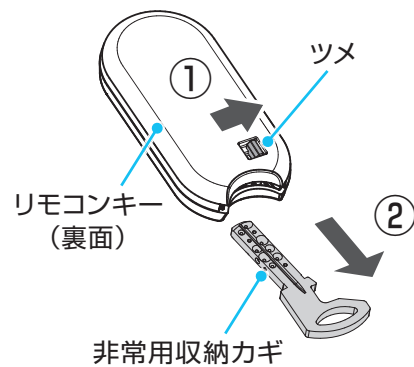


■電池の交換方法

- 基板に触れたり・はずしたりしないでください。
- 電池を取りはずす際は、ドライバーなどの電気を通す金属製のものは使用しないでください。
- 電池は、プラス(+)側を上にしてください。
- リモコンキーには電子部品が組み込まれています。故障を防ぐため、電池交換の際は、次のことにご注意ください。
 - ・ 電池交換を行う際は、一度、金属に触って、体に帯電している静電気を逃がしてから行ってください。帯電した状態で電池交換を行うと、静電気により電子部品が故障する場合があります。
 - ・ 濡れた手や汚れた手で電池交換を行わないでください。

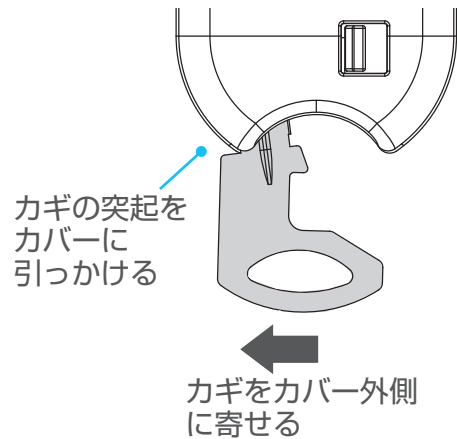
1 非常用収納カギを引き抜く

リモコンキー裏面のツメをスライドしながら、非常用収納カギを引き抜きます。



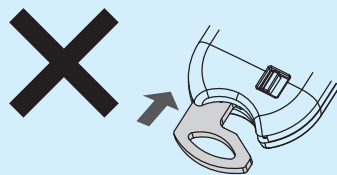
2 非常用収納カギを差し込む

右図の位置に非常用収納カギを差し込みます。

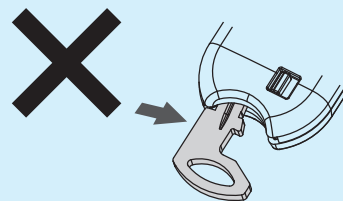


お願い

- カバーが開けにくくなりますので、非常用収納カギを深く挿入し過ぎたり、カバー中央に寄せたりしないでください。



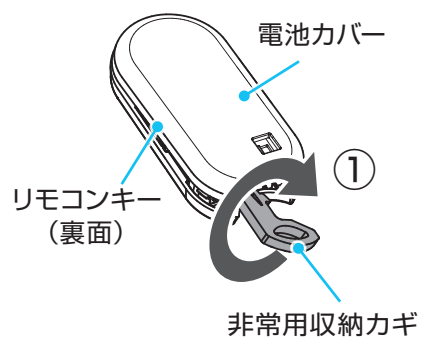
深く挿入する



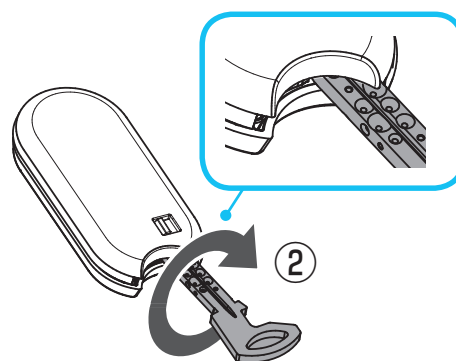
中央に寄せる

3 電池カバーを取りはずす

①差し込んだ非常用収納カギを時計回りにまわします。

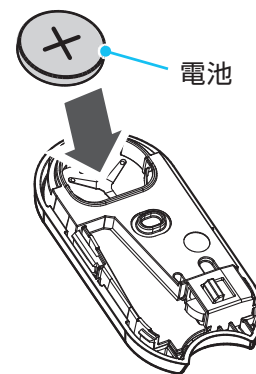


②反対側にも非常用収納カギの先端を差し込み、時計回りにまわして電池カバーをはずします。



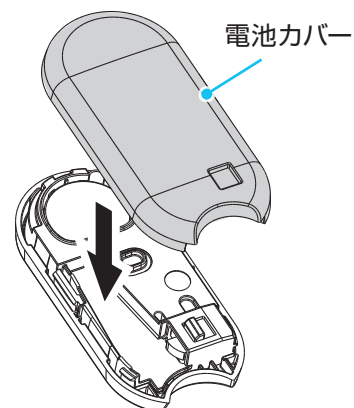
4 電池を入れる

電池を取り出し、新しい電池を入れます。



5 電池カバーを取り付ける

電池カバーを取り付け、非常用収納カギを元の位置に戻します。




ポケットキーシステムの機能

ご使用前に確認してください

- 必ず、P.6「安全にお使いいただくために」を確認したうえでご使用ください。

ポケットキーシステムとは

- リモコンキーを身につけて（ポケットやカバンの中など）リーダーボタンを押すことで認証し、施錠／解錠ができます。（→P.146）
※リモコンキーをリュックサックに入れて背負ったり、ズボンなどの後ろポケットに入れたいりしてご使用の場合、人体で電波が遮られ、電波が届きにくくなり、施錠／解錠できない場合があります。
 - リモコンキーの施錠／解錠ボタンを押して、施錠／解錠ができます。（→P.146）
 - タグキーをリーダーの読み取り部へ近づけることで、施錠／解錠ができます。（→P.146）
 - スマートフォンを身につけて（ポケットやカバンの中など）リーダーボタンを押すことで認証し、施錠／解錠ができます。（→P.109）
※スマートフォンをリュックサックに入れて背負ったり、ズボンなどの後ろポケットに入れたいりしてご使用の場合、人体で電波が遮られ、電波が届きにくくなり、施錠／解錠できない場合があります。
 - スマートフォンアプリの施錠／解錠ボタンをタップして、施錠／解錠ができます。（→P.109）
 - スマートフォンアプリでのリーダーボタン操作およびリモコン操作の作動範囲は、ご使用のスマートフォンや使用環境、アプリの設定状況によってことなります。また、スマートフォンの機種によってはご使用にできない機種があります。動作確認済みスマートフォンについては、ホームページよりご確認ください。
<https://www.ykkap.co.jp/consumer/support/sck/>
- 
- 動作確認済み
スマートフォン
- 管理用スマートフォンでキーの管理（登録／削除／名前設定）や各種設定ができます。「本体設定・カギの管理について」（→P.121）
 - 万一、リモコンキーやタグキーを破損・故障した場合は、非常用収納カギや非常用カギによる操作で施錠／解錠ができます。（→P.150）
 - LEDの光と音で、施錠／解錠動作をお知らせします。
※電動サムターンには、施錠／解錠状態を表示する機能はありません。
 - リモコンキーは最大8個まで登録することができます。
 - タグキーは最大20個まで登録することができます。
 - 管理用スマートフォン2台、一般用スマートフォン5台まで登録することができます。
 - リモコンキー／タグキー／スマートフォンは2つ以上の門扉に登録することができます。

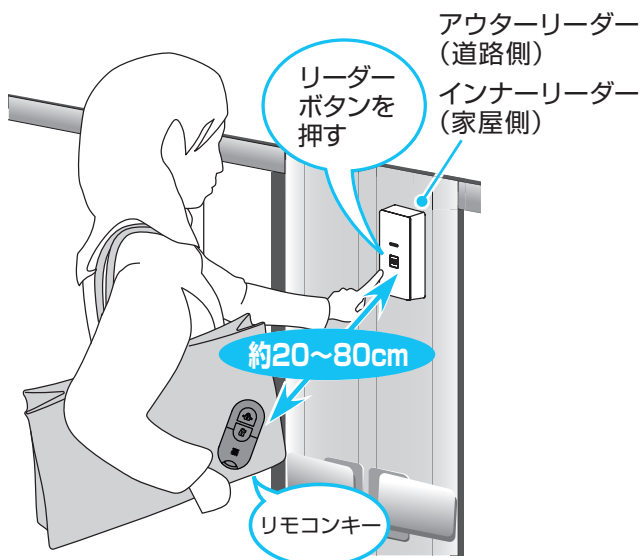
ポケットキーシステムの作動範囲

■リモコンキーの作動範囲

リーダーボタン操作の場合

- アウターリーダー/インナーリーダーから約20~80cm以内

<操作のイメージ>



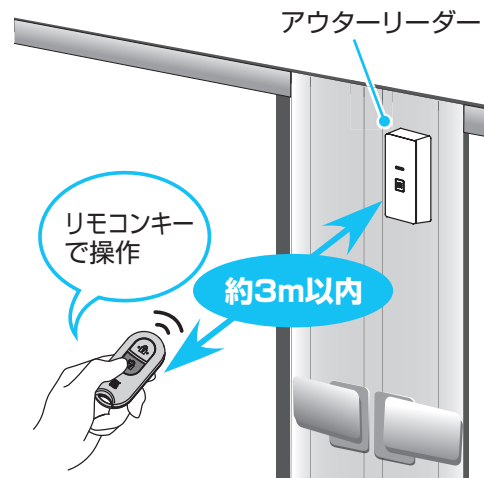
道路側

家屋側

リモコン操作の場合

- アウターリーダーから約3m以内

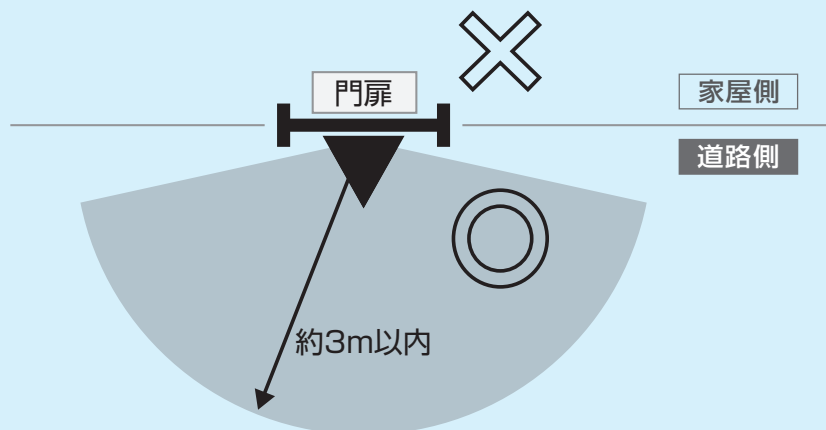
<操作のイメージ>



道路側

ポケットキーシステムの機能

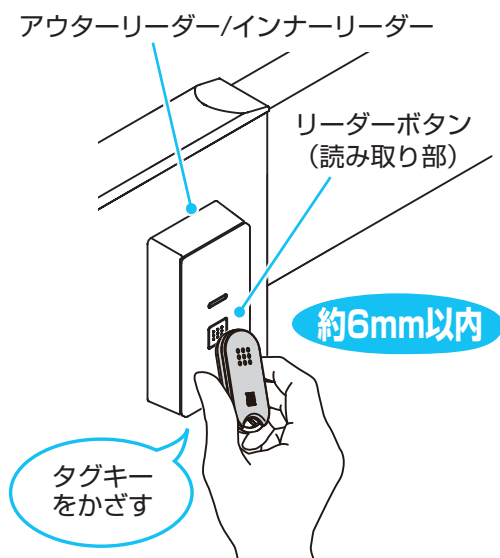
- リモコン操作は、出荷時は OFF に設定されています。ON にするためには、設定を変更する必要があります。詳しくは「リモコン操作の設定」(→ P.72) をご覧ください。
- リモコン操作の際、リモコンキーはアウターリーダーと通信します。家屋側からリモコン操作をした場合、門扉に電波が遮られてしまいアウターリーダーと通信できず、施解錠できないことがあります。



- リモコンキーの作動範囲は使用環境によって異なる場合があります。詳しくは「知っていただきたい現象」(→ P.15) をご覧ください。

■タグキーの作動範囲

- アウターリーダー/インナーリーダーのリーダーボタン（読み取り部）から約6mm以内
＜操作のイメージ＞



■スマートフォンの作動範囲

※スマートフォンアプリでのリーダーボタン操作およびリモコン操作の作動範囲は、ご使用のスマートフォンや使用環境、アプリの設定状況によって異なります。また、スマートフォンの機種によってはご使用になれない機種があります。動作確認済みスマートフォンについては、ホームページからご確認ください。
<https://www.ykkap.co.jp/consumer/support/sck/>

※アプリの設定については、「■リーダーボタン操作の設定」(→P.66)をご覧ください。



動作確認済み
スマートフォン

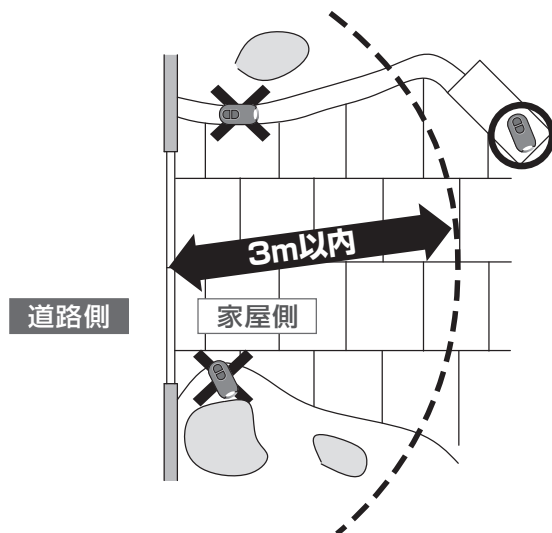
防犯機能

■ 置き忘れ防止機能

リーダー近くにリモコンキーを置き忘れていることをお知らせする機能です。
置き忘れ防止機能は標準仕様です。OFFにすることができません。

- リーダー近くに数秒以上放置されているリモコンキーがあるときに、アウターリーダーまたはインナーリーダーのリーダーボタンが押されると、施錠／解錠がされずに「ピッピッピッ…」と警告音が鳴り、リーダーボタンを押したリーダーのLEDが10秒間点滅し、「リモコンキーの置き忘れがあります」と音声がかかります。これはリーダー近くにリモコンキーの置き忘れがあることをお知らせしています。
LEDが点滅中にLEDが点灯したリーダーのリーダーボタンを押して警告を止めて、置き忘れているリモコンキーをリーダーから離れた場所で保管してください。
- リーダーボタンを押したとき、自分の持っているリモコンキーが静止していると、置き忘れ防止機能が働き、施錠／解錠されない場合があります。
このとき、自分の持っているリモコンキーを少し揺らすことで復帰し、警告音が止まり、施錠・解錠されます。
- 置き忘れ防止機能が作動してから、復帰操作をせずに約10秒経過すると警告音が自然に止まります。

<置き忘れ防止機能の作動範囲>



家屋側

- 作動範囲
リーダーから約3m以内

※使用環境によって作動範囲が異なる場合があります。

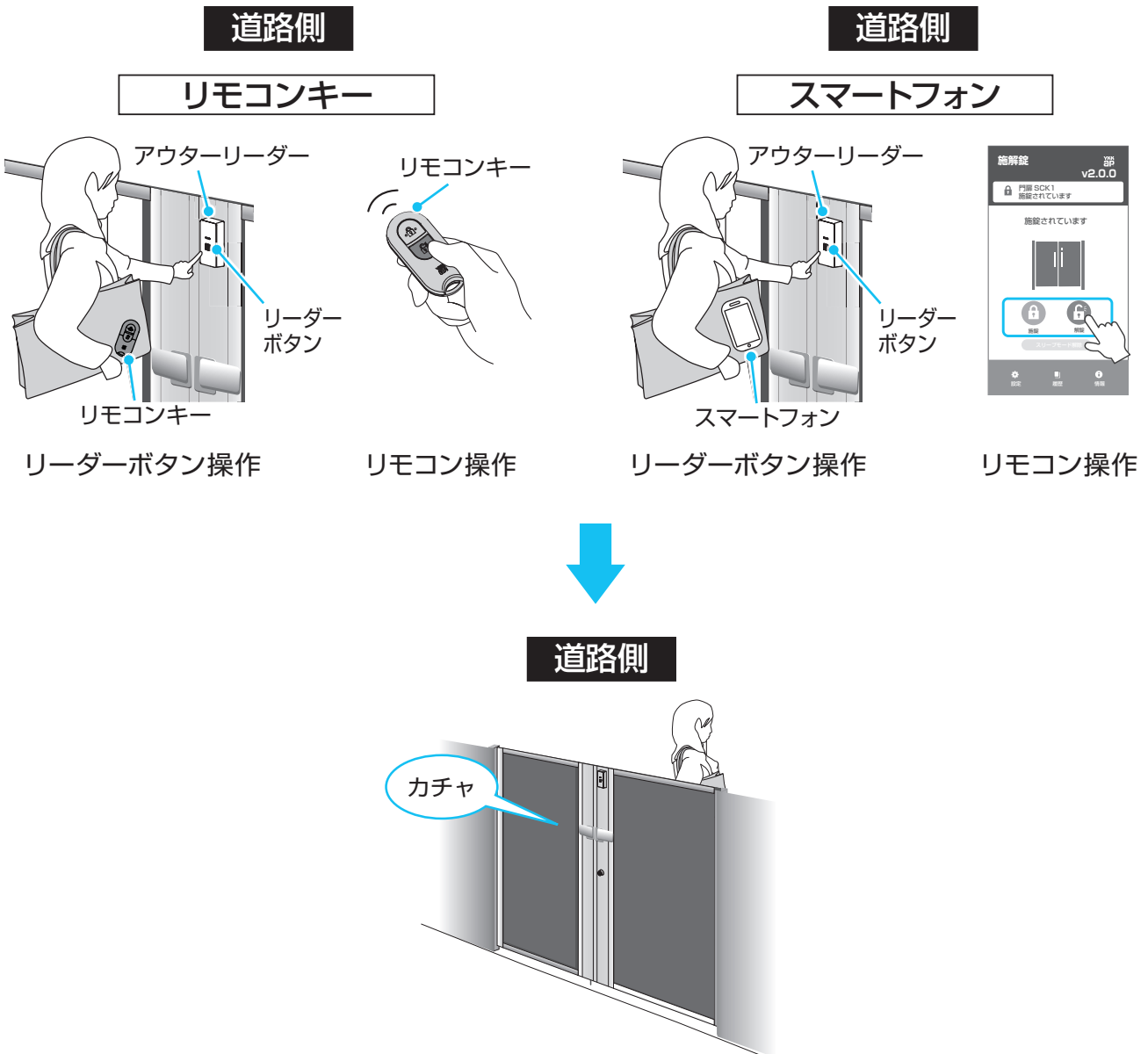
※置き忘れ防止機能が搭載されていますが、防犯上、リーダーから約3m以内にリモコンキーを保管しないでください。

■自動施錠

- 自動施錠機能を「ON」に設定すると、タグキー/リモコンキー/スマートフォンで解錠操作をした時、門扉を開いて家屋側に入り、門扉を閉めると1秒後に錠が自動で施錠されます。
 - 工場出荷時点では、「**自動施錠OFF**」に設定されています。
 - 自動施錠機能の設定は、「自動施錠機能の設定」(→P.57)に従って行ってください。
 - 自動施錠機能を「ON」にして使用する場合は、閉め出しや閉じ込めに対してご注意ください。(「閉め出しに関するご注意」(→P.30)、「閉じ込めに関するご注意」(→P.31))
- また、不測の事態に備えて必ず非常用力ギまたは非常用収納力ギを携帯してください。

リモコンキー/スマートフォンでの解錠

- リモコンキーやスマートフォンを持ってリーダーボタン操作で解錠した場合やリモコン操作で解錠した場合、門扉を開いて家屋側に入り、門扉を閉めると錠が自動施錠されます。

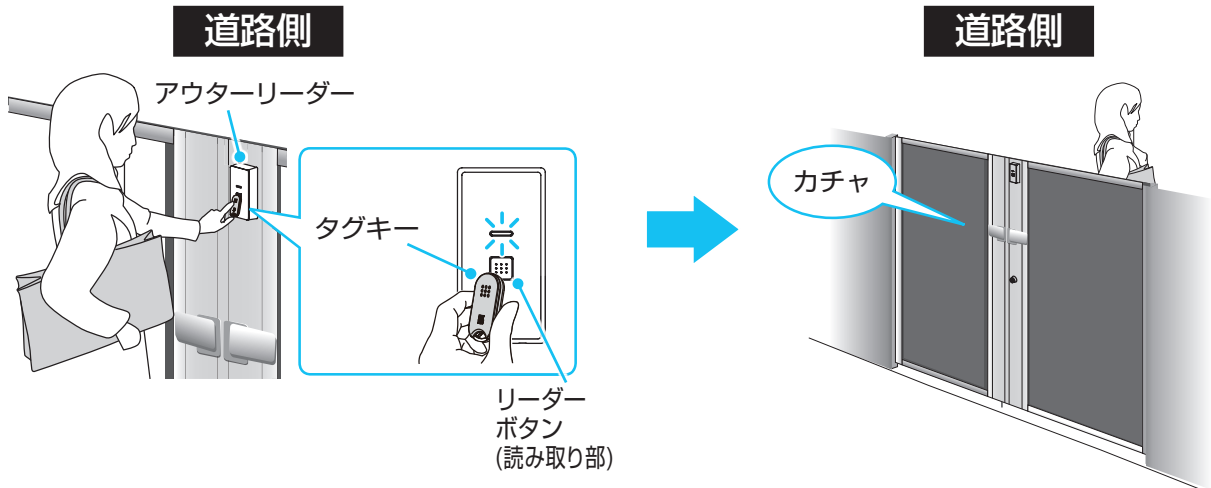


タグキーの解錠

- タグキーで解錠した場合、門扉を開いて家屋側に入り、門扉を閉めると錠が自動施錠されます。

お願い

- 門扉がしっかり閉まっていないと、自動施錠されません。
自動施錠を設定している場合でも、施錠された事を確認してください。



自動施錠されない例

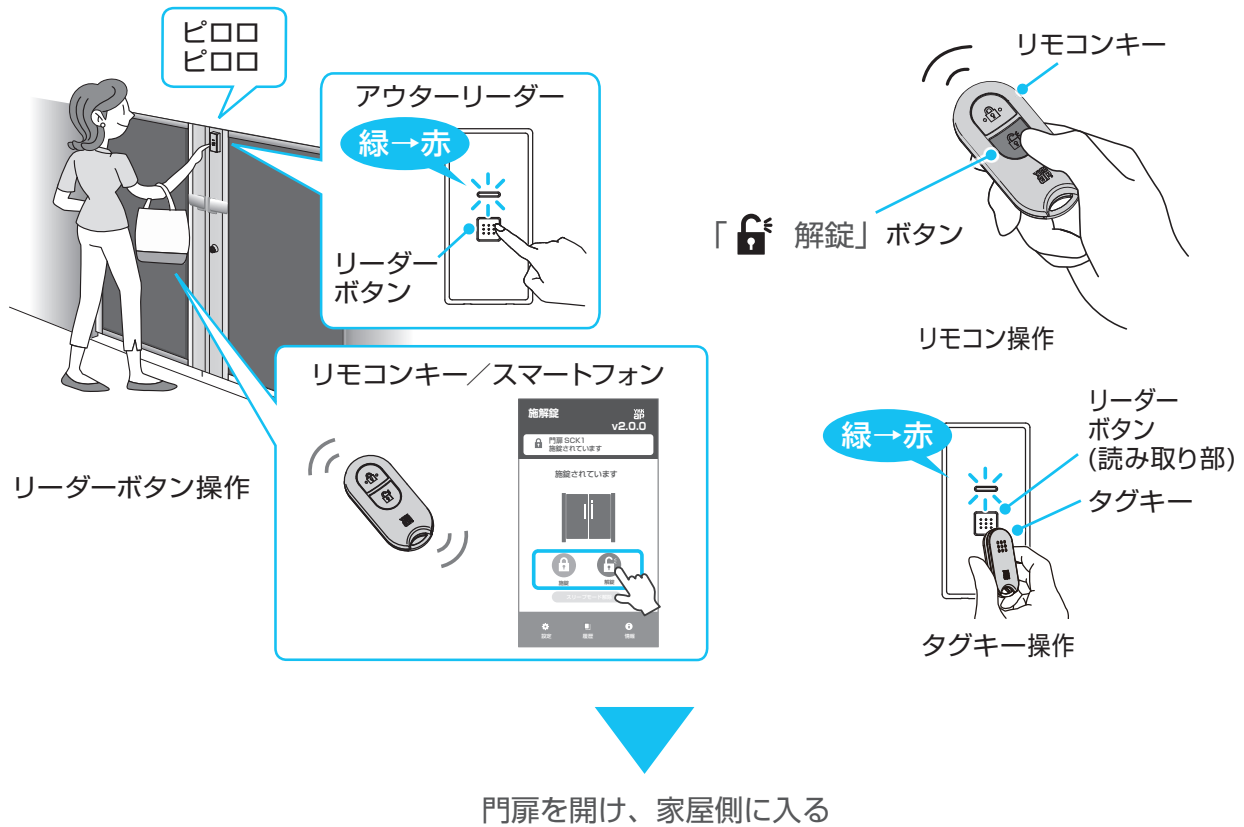
- 非常用収納カギまたは非常用カギやサムターン、操作盤付インターフェースユニットおよび増設操作盤で解錠した場合は、自動施錠されません。
- リモコンキーやスマートフォンを持ってリーダーボタン操作で解錠した場合、リモコン操作で解錠した場合、タグキーで解錠した場合でも扉を25秒以上開いたままにすると自動施錠されません。
- 他社製の電気錠操作器または電気錠コントローラーを使用した場合の自動施錠とは機能が異なります。
詳しくは各システム機器の取扱説明書をご覧ください。

閉め出しに対するご注意

- 自動施錠を設定した場合、タグキー/リモコンキー/スマートフォンで解錠したあと、タグキー/リモコンキー/スマートフォンを家屋側に置き外に出て門扉を閉めないでください。自動施錠され、閉め出しになります。

道路側

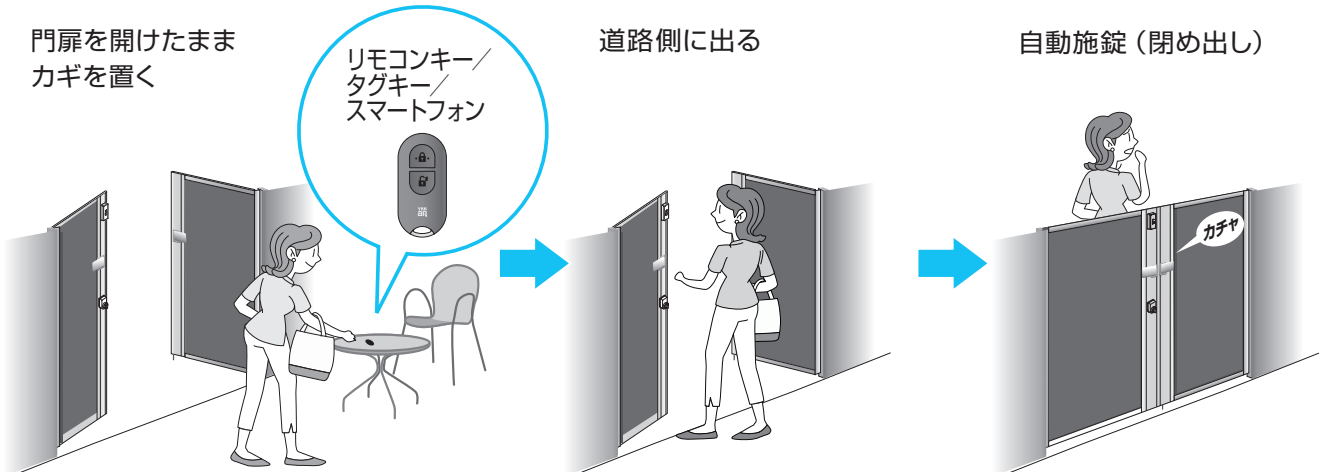
リモコンキー/タグキー/スマートフォンでの解錠



ポケットキーシステムの機能

家屋側

リモコンキー/タグキー/スマートフォンを家屋側に置いたまま道路側へ

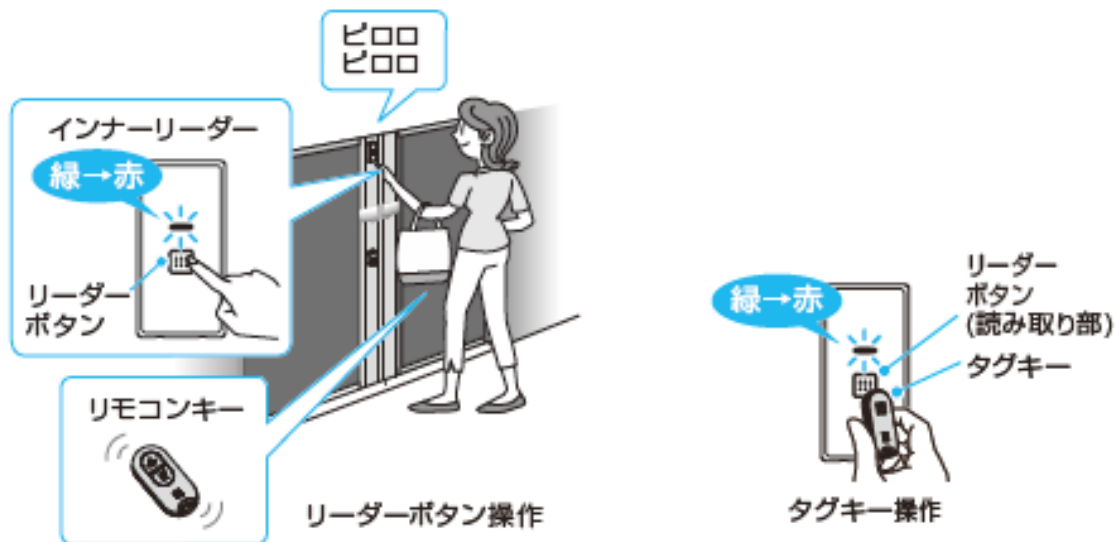


閉じ込めに対するご注意

- 自動施錠を設定した場合、タグキー/リモコンキー/スマートフォンで解錠したあと、タグキー/リモコンキー/スマートフォンを道路側に置き家屋側に入り門扉を閉めないでください。自動施錠され、閉じ込めになります。

家屋側

リモコンキー/タグキー/スマートフォンでの解錠



門扉を開け、道路側へ出る

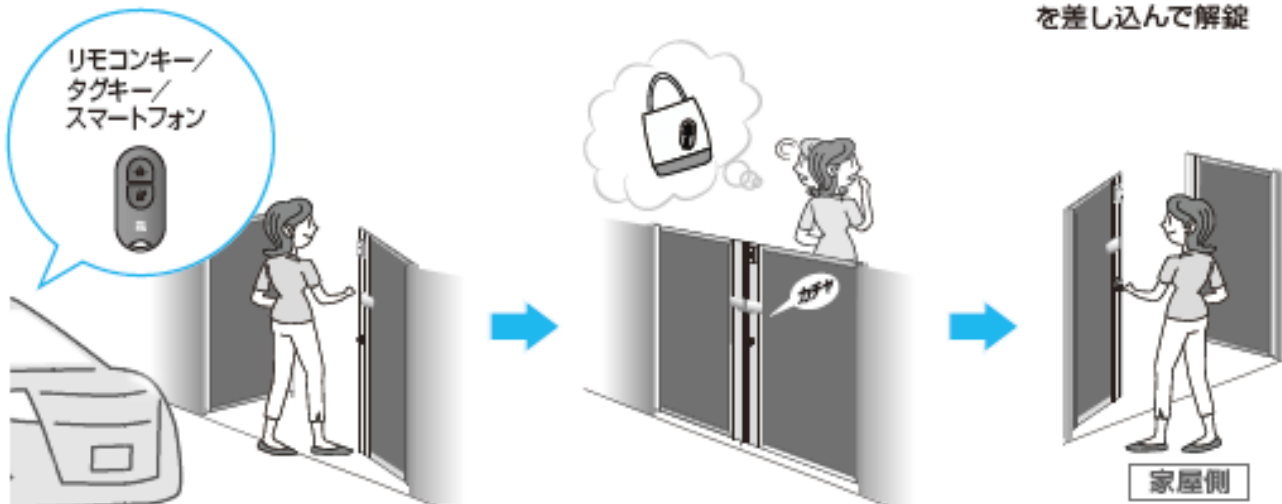
道路側

リモコンキー/タグキー/スマートフォンを道路側に置いたまま家屋側へ

門扉を開けたままカギを置いて
家屋側に入る

自動施錠 (閉じ込め)

サムターンを取り付け
または、非常用カギ
を差し込んで解錠



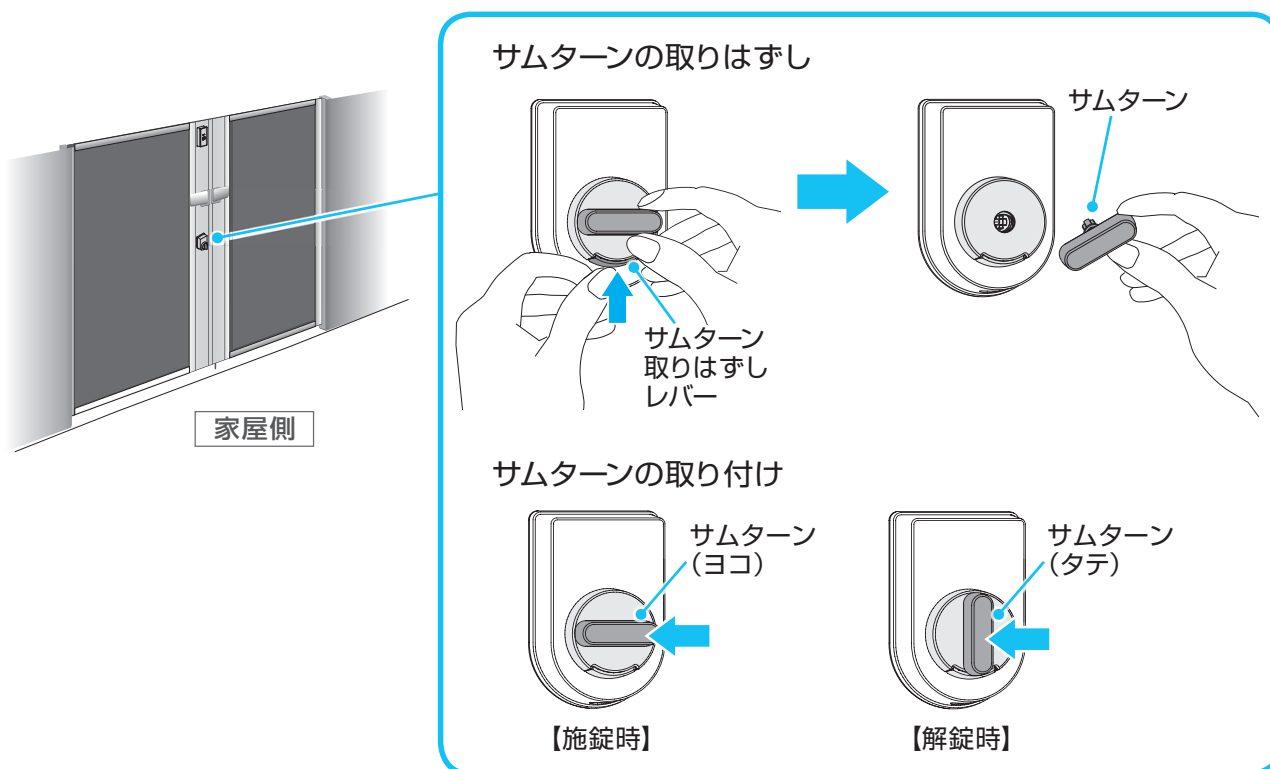
■タイマー施錠機能

- 手動操作/タグキー/リモコンキー/スマートフォン/操作盤付インターフェースユニットおよび増設操作盤で解錠しても25秒または50秒、門扉が開かなかった場合は、誤操作として再度自動的に施錠する機能です。
- 工場出荷時点では、「タイマー施錠OFF」に設定されています。
- タイマー施錠機能が働くまでの時間（25秒または50秒）を設定できます。
- タイマー施錠機能の設定は、「タイマー施錠機能の設定」（→P.60）に従って行ってください。

■サムターンの脱着

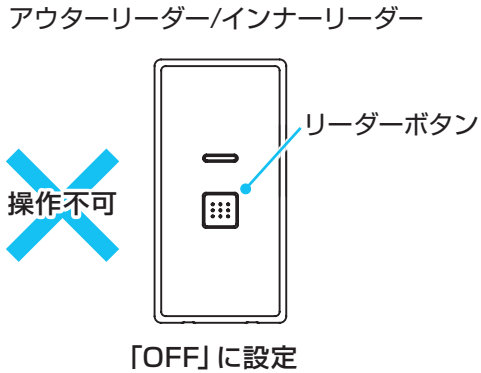
- 取りはずしたサムターンは、紛失しないようご注意ください。
- 取り付ける時、施錠時はヨコ、解錠時はタテ向きに差し込んでください。

- サムターンはサムターン取りはずしレバーを押して取りはずしができます。
- 外出時・就寝時などに取りはずしておく、サムターンを使った手動操作による解錠ができません。



■リーダーボタン操作ON／OFF切り替え機能

- リーダーボタン操作（リモコンキーやスマートフォンを持ってリーダーのリーダーボタンを押す）で施錠／解錠する機能を「ON／OFF」切り替えることができます。
- 工場出荷時点では、「ON」に設定されています。
- 「OFF」に設定すると、リモコンキー、スマートフォンでのリーダーボタン操作ができなくなります。
- リーダーボタン操作の設定は、「リーダーボタン操作の設定」（→P.66）に従って行ってください。



■リモコン操作ON／OFF切り替え機能

- リモコンキーのリモコン操作で施錠／解錠する機能を「ON／OFF」切り替えることができます。
- 工場出荷時点では、「OFF」に設定されています。
- 同じリモコンキーに玄関ドアも登録している場合、ドアだけを操作する時に便利な機能です。
- 「OFF」に設定すると、リモコンキーのリモコン操作が出来なくなります。
※スマートフォンアプリのリモコン操作には影響しません。
- リモコン操作が「OFF」に設定されていても、リーダーボタン操作が「ON」に設定されている場合は、リーダーボタン操作で施錠／解錠することができます。
- リモコン操作の設定は、「リモコン操作の設定」（→P.72）に従って行ってください。



お知らせ機能

■点検時期お知らせ機能

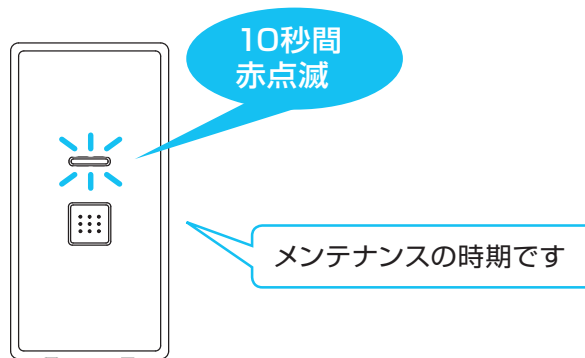
- ポケットキーシステムを長く安心してご使用いただくために定期的に点検をおすすめしています。点検時期については、リーダーのランプと音声ガイドでお知らせします。
- 点検の時期がきましたら、当社窓口までお問い合わせください。

●電装商品に関するお問い合わせ

☎ 0120-177-881

使用を開始してから約10年経過または約10万回開閉されると一定期間、施錠／解錠後にアウターリーダーのランプが10秒間赤色点滅し、音声ガイドが「メンテナンスの時期です」と案内が流れます。製品が点検時期にきていることをお知らせする機能です。一定期間経過すると通知は終了します。

アウターリーダー

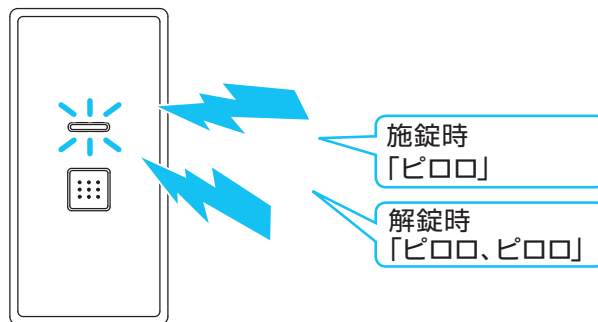


- ※点検時のお知らせ（赤点滅）は約1週間で通知期間が終了しますが、使用状況により変動します。
- ※音声ガイドは、点検時期のお知らせが始まってから、タグキー/リモコンキー/スマートフォンでの解錠操作20回まで流れます。
- ※通知期間中に門扉を開けた状態で、以下いずれかの操作を行うと、通知期間終了前に点検時期お知らせ機能を終了させることができます。
 - ・登録済みタグキーを持ち、アウターリーダーまたはインナーリーダーの読み取り部に5秒間かざす。
 - ・登録済みリモコンキーを持ち、アウターリーダーまたはインナーリーダーのリーダーボタンを5秒間押す。
- ※操作後に、以下のブザー音、リーダーのランプ、音声ガイドが流れ、通知が終了します。
 - ・ブザー音「ピーー」
 - ・アウターリーダーまたはインナーリーダーのランプ 2秒間赤点灯
 - ・音声ガイド「メンテナンス通知を解除します。」

■動作確認音のON／OFF切り替え機能

- タグキー/リモコンキー/スマートフォンで施錠/解錠する際の動作確認音をON／OFF切り替えることができます。
- 工場出荷時点では、「ON」に設定されています。
- 動作確認音の設定は、「動作確認音の設定」(→P.63)に従って行ってください。
- 音声ガイド、エラー音(ブザー音)は消えません。

アウターリーダー/
インナーリーダー



■音量の大／小 切り替え機能

- 音声ガイドの音量を大／小 切り替えることができます。
- 工場出荷時点では、「大」に設定されています。
- 音量の設定は、「音量の設定」(→P.69)に従って行ってください。
- 動作確認音、エラー音(ブザー音)の音量は変わりません。

アウターリーダー/
インナーリーダー

